

第4回深谷市立保育園民営化検討委員会 次第

日時：平成31年4月22日（月）

午後1時30分～

場所：深谷公民館 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

（1）公立保育園の民営化の方向性について

① これまでの協議のまとめと今後の進め方について

② 円滑な民営化への移行に係る検討について

③ 民営化対象園の選定について

4 そ の 他

（1）次回会議の開催日程について

平成31年 月 日（ ） 時 分から

（2）その他

5 閉 会

民間保育園・公立保育園のあり方の検討

検討委員会での協議（第 1 回～第 3 回）

【現状】

- ・ 保育園児童数の増加
- ・ 保育ニーズの多様化
- ・ 正規職員比率の減少
- ・ 福祉行政経費の増大

【課題】

- ・ 児童の受け入れ枠の拡大
- ・ 保育サービスの多様化
- ・ 保育の質の向上
- ・ 保育園運営費の効率化

【協議結果（民営化について）】

- ・ 入園児童数増加の受け入れは民間中心
- ・ 各種保育サービス実施率は民間が高い
- ・ 正職員比率は民間が高い
- ・ 保育サービスの向上が期待できる
- ・ 各園の特色（法人等の理念）が活かせる
- ・ 民間は研修の参加を通じて、職員の質の向上が期待できる
- ・ 一般財源化の問題に対応しやすい
- ・ 公立、民間とも利用者の満足度は総じて高い
- ・ 民営化実施園の利用者の満足度は高い（民営化後のアンケート結果より）

民営化の有効性あり

今後の検討課題

円滑な民営化への移行

【児童・保護者への配慮】

- ・ 対象法人
- ・ 引継の方法・スケジュール
- ・ 引継の条件（保育サービスの向上、保育内容の継続など）

【引継法人への配慮】

- ・ 財源確保の問題
- 【財政の効率化・民間活力の導入】
- ・ 運営形態
- ・ 民営化対象園

民間保育園・公立保育園の役割

【検討課題】

- ・ 保育体制の充実
- ・ 人材・財源の効果的な活用
- ・ 保育の質の向上
- ・ 保育サービスの向上

保育の質とサービスの向上

資料 2

(第 4 回会議)

円滑な民営化への移行に係る検討資料

項目	検討事項	対応案 (※)
1. 民営化の方式	【案 1】委託方式(指定管理) /公設民営 【案 2】移行方式/民設民営	○移行方式(民設民営)とする。
2. 委託・移管先の対象	・対象とする法人 ・法人実績の考慮 ・法人の所在地域	○過去 5 年間以上の保育実績を有する社会福祉法人または学校法人とし、原則、深谷市内の法人とする。
3. 委託・移管の条件等	・引継方法 ・運営面の評価 ・三者協議会(保護者、受託者、市)の設置 ・その他	○保育の引き継ぎにあたっては次の点に十分配慮し、市が責任をもってこれにあたること。 ・子どもの最善の利益を基本とする。 ・保護者の不安解消のため十分な説明を行い理解を得る。 ・引き継ぎ期間は少なくとも 1 年間とする。 ・当事者による協議の場を設置するなど、円滑な引き継ぎのための支援を行う。 ○移管後の保育園運営にあたっては、保護者の意見等を聴取し、最大限これを反映させるような仕組みづくりを行うこと。
4. 移管先の選定方法	・選考委員会の設置 ・選定基準	○保護者代表をはじめ保育及び保育園運営に関する専門知識を有する方々等で構成する選定委員会を設置し、保育の質・サービスの維持向上が図られるよう選考を行うこと。 ○移管先の選定に関する基準については、本検討委員会における協議内容を踏まえ、選定委員会において定めること。

※「対応案」については、前回の民営化時の深谷市立保育園民営化検討委員会検討結果報告書(平成 21 年 5 月)及び、深谷市立保育園民営化計画(平成 22 年 1 1 月)の内容を参考に作成した。

民営化園ヒアリング結果一覧

- ・実施期間：平成31年3月26日～4月9日
- ・対象園：桜ヶ丘保育園、つばさ保育園（平成25年度に民営化）
藤沢保育園、豊里保育園（平成26年度に民営化）

資料3

（第4回会議）

	【ヒアリング内容】	【各園の回答要旨】
1	民営化前の市の臨時職員を民営化後に法人として採用をしたか？採用した職員との間でトラブルや気がかりだったことは？	<ul style="list-style-type: none"> ・採用した。労働条件が変わるものの処遇内容もそれに伴い変更され大きく給与が上がったので喜ばれた。試験で保育理念等を確認した上で採用したのでトラブルなどはない。 ・最初は、みんなわからないながら探りあってたように思う。仲間割れということにはなかったが気遣いをしあっていた。 ・市の臨時職員の7割を職員として採用した。 ・募集は行ったが、採用はなかった。 ・採用した職員のうち、2人の退職があったが、その他の職員は現在も勤務している。
2	採用した職員が、公立保育園と保育方針が異なることで工夫した点は？	<ul style="list-style-type: none"> ・保育方針は異なっているが、そんなに大きなずれはないと感じた。子どもの健やかな育ちという根本的な理念は同じである。公立時の基本的な行事を踏襲することで実際の活動に差が生まれないようにした。 ・法人の方針に従ってもらうだけでなく「両方の良い所を残していきましょう」と話し、声を聞き、全否定しなかった。 ・給食調理において、民営化前と同じような給食の提供ができるよう民営化前と同じ業者に委託した。
3	保護者と法人との間でトラブルは？	<ul style="list-style-type: none"> ・民営化前には、保護者が既存の園（移管先法人が運営する保育園）へ給食を試食に来たり、また既存の園のような教材費がかかるのかなど質問があったが、保護者へ丁寧に説明することで信頼関係を築いている。 ・引き継ぎ当初は、信頼関係が築けておらず、手探りの状況だった。トラブルはなかったが、職員と保護者の間に距離はあったと思う。この原因として保護者への説明会など、園側と保護者側が柔らかく接せられる工夫が絶対に必要である。あまりに堅い進行だと先入観が先走ってしまい、実際と異なって理解されることがあったと保護者からも聞いている。

	【ヒアリング内容】	【各園の回答要旨】
4	保護者との関わり合いで気がかりだったことや改善すべきことは？	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の横の繋がりが特に強く、また強い保護者の意向が反映している傾向にある。保護者会役員の人選は時間をかけ配慮した。 ・三者協議会の代表者（保護者）が年長児になる親が多く、保育園生活最後の一年という事で主張が強い傾向があった。 ・信頼関係構築のため、日々の保育の情報提供を掲示などで行うとともに、口頭でも丁寧に説明した。保護者の協力のおかげで特に気がかりな点などはなかった。
5	公立の保育方針や運用で、実際に法人として困ったことは？	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害やその疑いのある児童の保護者への障害に対する啓発（専門医の診断等）がなされていないと感じた。 ・3歳以上児の主食代が低い。 ・既存の保育園（移管先法人が運営する保育園）では、保護者に説明しなくても大丈夫な内容であっても、民営化した保育園においては、丁寧に説明を行っていかなければならないと感じた。 ・消費税増税に伴い、給食代を値上げする際、説明を丁寧に言い対応をした。 ・理念や保育内容は異なっていたが、子どもも保護者も協力的で特に困ったことはなかった。
6	子ども達との関わり合いや接し方などで困った点や工夫した点はあったか？	<ul style="list-style-type: none"> ・重度の障害児への対応では、もっと細かい引き継ぎが必要であったと思う。職員には障害に関する研修を特に多く受講してもらった。また、養育施設や養護学校への訪問見学を行った。 ・小さいころ（入園した頃）を知らないのでも生き立ちが良く分からず苦労した。家庭のことなどもわからずのスタートだった。児童票を残してもらえなかったのが大変だった。子どもたちとはたくさん話し、接し、遊び、信頼関係を築くことに努力した。 ・既存の園（移管先法人が運営する保育園）で行ってきたことをそのまま行ったが、保護者が協力的で困ることはなかった。

	【ヒアリング内容】	【各園の回答要旨】
7	職員の入れ替わりによる連携で困った点などはあったか？	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員に対して初年度の担当クラスを決めていたのだが、その事を相談されることもなく、引き継ぎ年度の担当クラス（法人が思っていたクラスとは別）が決まっていた。 ・保育内容が違うため、連携を取るというより先入観を取り除いていただく事から始めた。法人職員のみでの運営だったが、保護者の皆様のご協力によりスムーズに行えた。
8	職員の配置や職員との信頼関係で工夫した点はあるか？	<ul style="list-style-type: none"> ・当初、発達障害の疑いのある児童が多く在籍しており職員を加配配置した。 ・職員とは、給食を一緒にとる事でコミュニケーションをとった。また定期的に面談をした。 ・前年度の1月～3月の3カ月間、合同保育という事で引継ぎをし、少しでも子どもの事を知ることが出来て良かった。予め、担当する予定の職員がそのクラスに入って過ごし、持ち上がりで担任した。しかし、その期間だけでは臨時職員の事まで良く分からず、やはり最初の年（始まりのころ）は苦勞した。臨時同士での揉め事もあった。私自身が元々現場にいたことから現場の事を中心に考えるよう（意見を身近で聞く）努力をした。現場寄りの園長でいられるようにした。 ・面談や研修を実施した。 ・3カ月間の引き継ぎ保育を行った職員を各クラスに配置することにより、子ども達の状況把握に努め、結果的に信頼関係が構築できた。
9	保護者会からの不満の声はあったか？	<ul style="list-style-type: none"> ・公立との違いを気にしている人もいた。どう変わっていくのか不安を持っていたのだと思う。 ・三者協議において5年間は保育方針を変更しないと約束しているので、そのような部分を継承し、保護者からの信頼関係を得ている。 ・不満というよりは、先入観による不安感が大きかったと思うが、保護者の協力により問題はなかった。

	【ヒアリング内容】	【各園の回答要旨】
10	保護者会からの要望はあったか？	<ul style="list-style-type: none"> ・行事についての要望がいくつかあったが可能な限り実行した。 ・最初に全て前年度に做えだったので特に要望はない。徐々に「お遊戯会をやっ てほしい」等の声も上がった。批判でなく前向きに考えてくれる人ばかりで助 かった。 ・運動会を園庭で行えないか？という要望が当初はあったが、本法人の運動会実 施後はやってよかったという意見に変わった。現在も民営化時同様の行事が行え ている。保護者の協力に感謝している。
11	特色を活かした保育内容について、保護者や子ども達の反応は？また苦情などはなかったか？	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達には、運動・英語や茶道等遊びの中でメリハリのある活動は喜ばれて いる。保護者にも成長につながったと好評である。苦情はない。 ・和太鼓やお遊戯会など喜んでくれていると思う。特に苦情は聞いていない。 ・夏祭りでの和太鼓を気にしていた為、購入し、指導員を入れて披露した。 ・新規で英会話を取り入れようと検討したが、民営化前に在園した園児の保護者 と民営化後に入園した園児の保護者とでは特色を活かした保育内容に対する意識 の違いがあった。 ・民営化実施前は費用がたくさんかかるのではないかなど不安の声があった が、実施後は子ども達の表情や状況を通して、やってよかったという声が多く聞 かれた。苦情は特になく、卒園時には保護者からもっと早く民営化されていれば という感謝の手紙や言葉をいただいた。 ・保護者との信頼関係を築くために工夫した。例えば公立保育園で和太鼓を行っ ていたが、民営化後は外部の専門講師から和太鼓を教えてもらうことで保護者か ら喜ばれた。
12	保護者からの意見や意向を反映する仕組みなどはあったか？	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の方からの情報収集を行った。新しいことを行う時にアンケートも活用し た。給食の献立については子ども達からもアンケートをとっている。 ・園長、主任が窓口となり意見や愚痴を聞いた。保護者会（会長）が間に入って くれた年もあり、ありがたかった。 ・保育参加を実施し、園長や統括園長による保育内容全般にかかる説明を行っ た。それにも増して、保護者の皆さんの熱心な子育てと現場の保育士さん達のき め細かい声かけや情熱のおかげが大きかったと思う。